

## 令和6年度 第8回 国立市スポーツ推進委員定例会 議事録要旨

日 時：令和6年12月19日 午後7時から9時まで

場 所：国立市役所 第一・第二会議室

出席委員：塩野委員、森本委員、保坂委員、仁科委員、五十嵐委員、荻原委員、長谷川委員

欠席委員：坂委員、森西委員、原委員、佐藤委員、武政委員

事務局：井田課長、勝田係長、矢部会計年度任用職員

### 1. 議題

#### (1) ボッチャくにたちカップについて

…資料① 「ボッチャくにたちカップ2024」について他7点

- ・事務局より説明あり。12月21日（土）に総合体育館第一体育室で実施となる。当日は、仁科委員、武政委員、塩野委員、坂委員、森本委員、保坂委員（午後のみ）、原委員（午前中のみ）の出席を確認した。今回は東京都障害者スポーツ協会の行っている「障スポ&サポート」制度を利用し、9名のボランティアスタッフが協力してくれることとなり、運営のサポートをお願いすることになっている。手話通訳者2名、看護師1名、事務局4名、スタッフは総勢23名となる。

係分担とタイムスケジュールを確認し、承認された。

11月23日（土）に東京都市町村ボッチャ大会の審判講習会が行われ、森本委員が出席した。ボッチャくにたちカップも市町村大会のルールに合わせているため、実技を交えて最終確認を行った。

- ・審判は極力しゃべらない
- ・審判が発する言葉について
- ・審判の立ち位置の確認（スローイングラインを踏んで投球した場合のボールをとめるため、ジャックボールの50センチ位手前で、投球の邪魔にならない位置に立つ）
- ・距離の計測のしかた
- ・特殊な事例について解説
- ・相談タイムについて（1回の相談は30秒以内で、1エンド2回まで）

- ・ボッチャくにたちカップオープン参加の取扱いについて、事務局より説明あり。12月16日付で委員の皆様あてに送付したメールについて、添付した意見書と対応記録を読んでどう思われたか等を話し合っていたきたい。
- ・事務局としては、出場辞退が出たことに対して重く受け止めなくてはならないと考えている。ボッチャくにたちカップの事業趣旨として、「しょうがいの有無や年齢、性別などに関わらず、同一のルールの下で競技を楽しむことができるボッチャ競技で、しょうがいしゃスポーツも含めたソーシャルインクルーシブスポーツの普及を図っていく」と明記されている。これを踏まえると、国立市内で参加したいと思っているし

ようがいしゃの方が参加できるような国立ルールを設けるべきなのではないか、と考えている。介助者同士の相談が良くなかったのであれば、それについてはやらないと先方は言っており、意思表示できない車いすの方の代わりに介助者1名が相談なしで行うことができないか。と話はいただいている。今日は、辞退された方も参加できるようにする「国立ルール」の構築に向けて議論いただきたいと思う。

- ・ 競技性を強くすると線引きが必要となってくるが、意思疎通が難しい方も、周りの方々、介助者の方々が一喜一憂しているところを感じて、自分は表現できないが、内面では喜んでいる可能性はあるのではないだろうか。それを介助者は理解しているから、去年は周りで声を出して楽しんでいただけたと思う。「ソーシャルインクルージョン」であれば、誰でも参加できるようにする方が良い。ただ、市町村大会に出場するか否かの話になったときは、個別対応することが適当だと思う。
- ・ 誰でも参加できるようにするためにはどうしたら良いか、どのようなルールにするかを考えないといけない。
- ・ 「介助者1名とランプを操作する人1名で行う。ランプを操作する人は、コートに背を向けて後ろを見ない」など、ルールに入れる必要がある。
- ・ 去年は、該当チームは決勝リーグに残り、同じコートにいた他のチームからは不満が出た。
- ・ ランプを操作する人は1人でコートの中を見ない。介助者1名のみが指示する。と、変えて、そうすればオープン参加にしなくても参加できる。東京都市町村大会にはルールが違って参加できないので、国立市だけになりますと要説明。
- ・ ある程度我慢しあって、割り切ってルール決めは必要だと思う。
- ・ 定例会でお諮りいただいた内容は事務局から先方に伝え、それを踏まえて回答があれば、改めて定例会でお諮りしたいと思う。

## (2) スポーツこどもの日について

…資料② 令和6年度社会体育事業実施要項(案)、タイムスケジュール(案)

- ・ 事務局より現状報告あり。佐藤委員と長谷川委員のお二人で調整を行っている最中とのこと。日程は、2月16日(日)で陸上競技、体操競技の先生方には了承いただき、借用体育館について、陸上競技の雨天時の体育館がいまだ未定である。決まり次第お知らせくださるとのことである。

今後の流れとしては、借用体育館が固まり次第、先生方と打合せ、デフフットサル講師とは1月の早い段階で打合せを行いたいと考えている。タイムスケジュールについては、今の段階での案で流れの確認をしていただきたい。1月定例会では係分担の入った資料を示す予定である。

当日参加予定の委員は、仁科委員、塩野委員、保坂委員、長谷川委員である。本日欠席の委員には後日出欠を伺うことにする。

## 2. 報告

### (1) その他

#### ○令和6年度東京都市町村ポッチャ大会 審判講習会 報告 11月23日(土)

- ・ 森本委員より、講習会の様子について報告を行った。  
(ポッチャくにたちカップの議題の中でルールについては話があったので、それを報告とする)

#### ○令和6年度 課題別研修会 報告 11月30日(土)

- ・ 出席した森本委員より、研修会の様子について報告を行った。  
内容は「スポーツ推進委員活動におけるスポーツ事故防止とリスクマネジメントについて」であり、指導者は有償であろうがなかろうが相手に信頼を得ることのできるようにならなければならない、私憤による言葉の暴力は意識して排除する必要があるとあらためて感じた。

#### ○カップ普及指導員養成講習会 報告 12月1日(日)

- ・ 出席した仁科委員より、講習会の様子について報告を行った。  
参加者6名で、今回はルール等も頭に入った。是非国立の委員の方にも実践を交えてお伝えしたいので1セット購入を検討いただきたい。

#### ○都スポ協「交流ポッチャ大会」 報告 12月8日(日)

- ・ 出席した仁科委員より、大会の様子について報告を行った。  
16チームで実施。準優勝であった。勝ち点制で勝ちが3、引き分けが1、負けは0で、勝敗がはっきりするのでわかりやすいと思った。

以上